

Bridolly

text and
paintings by
Kenji Shimizu

vol. 2 月刊ブリドリ



SAKURA F6



第二回

志水堅二 しみずけんじ
1971年名古屋市生まれ。近年、ブリキの鳥のオリジナルキャラクター『ブリドリ』をモチーフに絵画、立体等を制作。画廊、百貨店などで作品を発表。個展多数。

KENJI SHIMIZU EXHIBITION
『FLAPPING』
3月22日～24日・東京国際フォーラム
アートフェア東京2013E02(京橋画廊ブース)

行雲流水

2013年も早いものでもう3月、僕の誕生日だ。悲しいことに42歳になってしまった。美術と関わって何年経つだろう。

16歳のとき、親友に誘われ通い始めた美術研究所で初めて描いたぼけぼけの木炭デッサンを褒めてくれたのは当時28歳くらいの奈良美智氏だった。人生ではじめて美術家を見て、憧れた26年前、思えばあれが美術人生のスタートである。

18歳からいつの間にか芸大を目指すことになり2浪、先輩がくれた多摩美の願書で受験し入学。

大学院進学を考えていたが先生に勧誘され卒業後、助手に就任、6年勤め30歳で退職し作家活動に専念、現在に至るという感じだ。

20年弱の間に絵のモチーフや方向性、画材も変わり、近年は大和絵の影響を受け始めて、岩絵具なども使って制作してみるようになったのだが油絵科の僕にはわからないことが多かった。

そんなある日、友人に誘われ行った藝祭で、ビールを飲みながら大学院の願書を眺めていると中島千波先生の名前が目にとまった。

助手時代、何度か酒の席で米倉守先生に日本画の質問をすることがあったのだがそんな時、酔った先生に度々言われた言葉がある。

「千波に聞けい！」

そうだった、うん、よし、受験しよう。気分屋な魚座B型自由人『志水堅二』

美術に関わり気分に任せ、流れ流れて26年目、

本人も驚くまさかの大学院生である……。

Shimizu

